

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握するとともに、施策の評価や市政への関心・意識の程度を調査し、市政運営上の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

調査項目は以下のとおりである。

調査事項	調査項目
回答者属性	性別、年齢、職業、家族構成、居住年数、居住地域、居住地区
宇都宮市に対する感じ方	宇都宮市の好き・嫌い、好きな理由、嫌いな理由
広報媒体の活用状況	「広報うつのみや」の入手方法、「広報うつのみや」で読んでいる記事、アプリを利用した動画視聴状況、市政情報の各広報媒体の視聴状況、ホームページを見るための主な手段、ホームページで知りたい情報はどこから探すか、ホームページで知りたい情報は探しやすいか、ホームページで充実してほしい情報や機能
多文化共生の認知度と施策への関心	「多文化共生」の認知度、外国人住民と接する機会、参加したい多文化共生事業
窓口サービス	市役所の窓口サービスについて、どのように感じているか
住宅用火災警報器	「住宅用火災警報器」設置義務の認知度、「住宅用火災警報器または自動火災報知設備」の設置状況、「住宅用火災警報器等」を設置していない理由、「住宅用火災警報器等」の点検等実施状況
男女共同参画	「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度、生活の中で何を優先するか、配偶者等からの暴力を受けた経験、暴力を受けた時に誰かに相談したか
障がい福祉施策	「共生社会」の認知度、必要と思われる取り組み
もったいない運動	「もったいない運動」の認知度、実践している「もったいない運動」、「もったいない残しま10！」運動の認知度
生物多様性	「生物多様性」、外来種が及ぼす影響の認知度、生物多様性を保全するために必要と思われる取り組み
ごみステーションへのごみの排出状況	不燃ごみの排出状況、資源物の収集についてどのように考えているか
うつのみや産の農畜産物	「うつのみや産」の農畜産物の選択購入、宇都宮の農業を大切にしたいか
中央卸売市場の一般開放	中央卸売市場の一般開放の認知度、来場回数、市場に来場してどのように感じたか、市場開放の魅力向上のため今後必要なもの、一般開放に行かない理由、行ってみたい一般開放とは

調査事項	調査項目
食料品・生活用品の買い物について	食料品・生活用品の買い物の際に困っていること、買い物環境を改善するために必要なこと、家の近くにあったらよいと思うもの
宇都宮市の景観	宇都宮市の景観は10年前と比べてどうなったと感じるか、「宇都宮らしい景観」とは何か、良好な都市景観の形成に必要なこと

3. 調査の設計

- 調査地域 宇都宮市全域
- 調査対象者 満20歳以上80歳未満の日本国籍を有する市民4,800人
- 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 郵送法（回収にあたってはインターネットを併用）
- 調査期間 平成29年7月3日～7月18日

4. 回収結果

調査対象数	有効回答数	有効回答率
4,800	2,400	50.0%

<性別・年齢別の回収状況>

年代	性別	調査対象数	郵送		インターネット		合計	
			回収数	回収率	回収数	回収率	回収数	回収率
20歳代	男性	345	51	14.8%	23	6.7%	74	21.4%
	女性	246	77	31.3%	17	6.9%	94	38.2%
	計	591	128	21.7%	40	6.8%	168	28.4%
30歳代	男性	464	93	20.0%	49	10.6%	142	30.6%
	女性	397	167	42.1%	25	6.3%	192	48.4%
	計	861	260	30.2%	74	8.6%	334	38.8%
40歳代	男性	552	145	26.3%	47	8.5%	192	34.8%
	女性	474	235	49.6%	35	7.4%	270	57.0%
	不明	-	1	-	-	-	1	-
	計	1,026	380	37.0%	82	8.0%	463	45.0%
50歳代	男性	394	134	34.0%	42	10.7%	176	44.7%
	女性	363	216	59.5%	14	3.9%	230	63.4%
	計	757	350	46.2%	56	7.4%	406	53.6%
60歳代	男性	456	245	53.7%	18	3.9%	263	57.7%
	女性	470	311	66.2%	4	0.9%	315	67.0%
	計	926	556	60.0%	22	2.4%	578	62.4%
70歳以上	男性	301	202	67.1%	4	1.3%	206	68.4%
	女性	338	233	68.9%	0	0.0%	233	68.9%
	計	639	435	68.1%	4	0.6%	439	68.7%
年代不明	-	-	12	-	-	-	12	-
全体	男性	2,512	870	34.6%	183	7.3%	1,054	41.9%
	女性	2,288	1,239	54.2%	95	4.2%	1,335	58.3%
	不明	-	11	-	-	-	11	0.5%
合計		4,800	2,122	44.2%	278	5.8%	2,400	50.0%

5. 標本誤差

アンケート調査を行う場合、全母集団を対象とすることが望ましいが、実際には適切な数の標本を抽出して調査を行うことになる。そのため、アンケートの回答結果が、どの程度の精度を持った回答結果であるのかを検討することが必要となる。その精度は以下の式で表わされる標本誤差を算出することで把握できる。

通常のアンケートでは、信頼度として95%がとられるケースが多い。信頼度95%とは、100回に5回がその標本誤差の範囲におさまらないという意味である。

次の表は、本調査における信頼度95%の場合の標本早見表である。

回答の比率 (P) 回答数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
2,400	±1.20%	±1.60%	±1.83%	±1.95%	±1.99%
2,000	±1.31%	±1.75%	±2.00%	±2.14%	±2.19%
1,600	±1.47%	±1.96%	±2.24%	±2.40%	±2.45%
1,200	±1.69%	±2.26%	±2.59%	±2.77%	±2.82%
800	±2.08%	±2.77%	±3.17%	±3.39%	±3.46%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%

<標本誤差の算出方法>

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b : 標本誤差

N : 母集団数 (宇都宮市の20歳以上80歳未満人口)

n : 比率算出の基礎 (回答者数)

P : 回答の比率 (%)

1.96 : 信頼度95%の場合 (信頼度99%の場合は2.58を使用)

<表の見方>

この表の見方としては、例えば、回答者数が2,400で宇都宮市が「好き」との答えが43.0%であった場合、「その回答比率の範囲は最高でも43.0%±1.99%以内(41.01%~44.99%)である」とみることができる。

6. 調査報告書の見方

- 集計値は、小数点第2位を四捨五入とする。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答比率(%)は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。
- 基数となるべき実数はnとして表示した。その比率は、件数を100.0%として算出した。